

神奈川県立

精神医療センター

NEWS

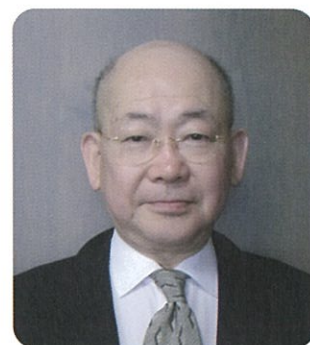
No.1

2015年8月発行



発刊にあたって

所長 岩井 一正



「神奈川県立精神医療センター」は、昭和4年の診療開始から85年目の昨年、平成26年12月に芹香病院とせりがや病院をまとめて、1つの病院となって生まれ変わりました。

新病院は、9病棟323床の精神科単科病院です。鉄筋コンクリート造地上5階建免震構造の本館とF棟（医療観察法病棟）。他に体育館（療法棟）、グラウンド（療法庭）があり、機能的で安全・快適な療養環境です。今後、平成28年3月までに、園庭や遊歩道、駐車場等、外構部分の整備を進めていきます。

また、精神科救急医療の充実・強化に加え、新病院では、新しく思春期医療を実施するほか、これまで、芹香病院で行ってきた医療観察法医療、難治なうつ病等を対象とするストレスケア医療、さらに、せりがや病院で行ってきたアルコールや薬物等への依存症医療等の専門的な医療を提供して、神奈川県精神科医療の中心的役割を更に充実させたいと思います。

これまで、当センターでは「精神医療センターだより」を年1回発行してきましたが、今後は装いを新たに「精神医療センターニュース」として回数を増やし、当院のタイムリーな情報をお届けしたいと思いますので今後ともよろしくお願いします。

Contents

- 発刊にあたって
- 思春期医療紹介
- 依存症治療拠点機関の取組
- ストレスケア病棟紹介
- インターネット診察受付
- 相談窓口（福祉医療相談科）



精神医療センター基本理念

私たちは、こころの健康を支え、質の高い精神医療を提供します

● 思春期医療紹介 ●

✿ 思春期精神治療について

新病院とともににはじまった、思春期の子どもたちのこころを対象とした専門的治療です。

- ★地域の医療機関やご家族からの相談に応じ、迅速かつ積極的に対応していきます。
- ★「精神医療は可能な限り地域で行う」を理念とし、入院治療はできるだけ短期となることを目指します。
- ★多職種によるチーム医療を行うことで、患者さん・ご家族をサポートします。
- ★思春期年代は発達の上であり、それぞれかけがえのない個人として、その回復・成長を支援していきます。



デイルーム

✿ 思春期病棟とは

全室個室とし、プライバシーに配慮した快適な療養環境を提供しています。病棟担当の精神保健福祉士・臨床心理士が在籍し、患者さん・ご家族の支援体制を整備しています。

- ★病床数：30床（閉鎖病棟 保護室・準保護室5床を含む）
- ★対象者：原則12歳～18歳
- ★特徴：神奈川県立横浜南養護学校芹が谷学級（中等部）が病棟内に設置されています。
病棟専用の外部運動場を設置し、建物から出ることなく青空の下活動することができます。
臨床心理士・作業療法士による病棟プログラムが組まれており、症状に応じ参加することができます。



学習室

✿ 受診のご相談

まずは電話にてお問い合わせ下さい。受付窓口は福祉医療相談科となっています。

電話045-822-0241（代表）



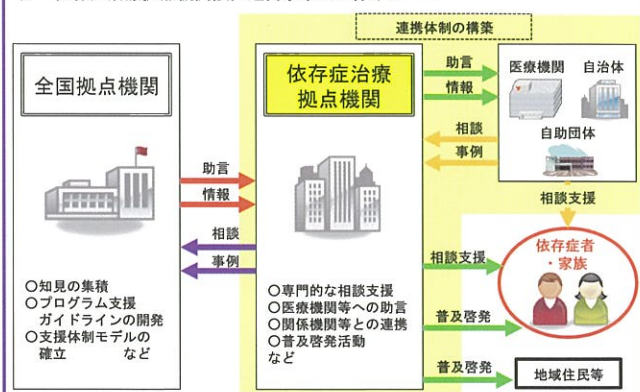
外部運動場

● 依存症治療拠点機関の取組 ●

国では、地域全体の依存症に対する診療機能の向上を目指して「各都道府県に1か所以上を目途として地域における依存症治療拠点機関を整備」することとなり、当院など全国5か所の病院が平成26年度から3か年度のモデル事業として「依存症治療拠点機関」に指定されました(図)。

具体的な取組は①依存症患者やその家族への専門的な相談支援、②精神科医療機関等への助言・指導、③関係機関等との連携・調整、④依存症患者やその家族、地域住民等への普及啓発活動などについて、旧せりがや病院以来の治療活動を拡充するものです。また、この事業でアルコール、薬物とともに新たに対象とされた、ギャンブルの依存症についても取り組んでいきます。

図 依存症治療拠点機関設置運営事業の全体イメージ



● ストレスケア病棟紹介 ●

当センターのストレスケア病棟は開棟後8年目を迎えています。効果的な病診連携を目指して、クリニック訪問、アンケート調査やストレスケア研究会（症例検討会）などを通して、病棟体制の見直しや病診間の交流に努めております。平成26年秋に実施したアンケート調査（県内55施設から回答）では以下のことが分かりました。

- ストレスケア病棟の認知度は地域的に偏っていること
- まだまだ「敷居が高い」イメージがあること（待たされる、断られるなど）
- 「お互いに顔の見える」医療連携が必要とされていること
- 7割以上の診療所医師が入退院を繰り返す症例を抱えていること
- 先進的医療の実践への期待

以上の点を踏まえて、今後もさらなる連携体制の強化と地域への啓発活動を促進していきたいと思います。平成26年12月の新病院開院以降は、お陰様で90%以上の稼働率を維持しておりまして、地域の皆さまのお役に立っているのではないかと考えております。

さらに、臨床研究室の活動をより充実させて、より多くの患者さんへ先進的医療を提供していきたいと考えています。rTMS（反復性経頭蓋磁気刺激法）や鍼灸に加えて、時間生物学を応用した「クロノセラピー」にも力を入れていきます。平成26年度から保険収載された光トポグラフィー検査に関しては、県内で導入機関が少ない実情を配慮して当センターにて実施できる体制を整えていきたいと思います。新しい取り組みにつきましては、当センターのウェブサイトにて随時情報を更新してまいりますのでご確認ください。



ダイニングルーム



ニューロモデュレーション研究室



外来ドイケア室



療法棟(体育館)

インターネット診察受付

インターネットによる診察申し込みについて

当センターにおける診察は、必ず受診をされる方（ご本人）の来院が前提となります。
下記の確認事項をよくお読み頂いた上でお申込みください。折り返し、診察日時をご連絡します。
（再診の方は、電話でお問い合わせ下さい。）

☘ 確認事項 ☘

1. ストレスケア、思春期、依存症はインターネットによる診察申込みを行っておりません。お電話によりお申込みください。
2. ご連絡は原則申込日の翌々診療日となります。なお、土・日曜日や祝日、年末年始のお申込みの場合、ご連絡が遅れることがあります。
また、メールでのご連絡ができない場合、確認のお電話をさせていただくことがあります。
3. 診察時間につきましては当方にて指定させていただきます。なお、当センターの初診は、原則平日（月曜日から金曜日）の9時から11時30分となっております。
4. 診察日時の確認のメールが来ない場合等、ご不明な点は福祉医療相談科
電話045-822-0241（代表）までお問い合わせください。

● 相談窓口（福祉医療相談科） ●

- ◆ 当院への受診・入院のご相談をお電話でお受けしています。
相談時間：平日 8:30～17:15
電話番号：045-822-0241（代表）（福祉医療相談科）
- ◆ 当院に通院、入院中の患者さん及びそのご家族からの次のようなご相談にソーシャルワーカーが応じます。
 - ・ 病気についての不安・心配
 - ・ 医療費や生活費等お金のこと
 - ・ 年金や手帳など福祉制度のこと などお電話でご予約頂きますと、お待たせせずにお時間をお取りできます。
- ◆ ご相談は無料です。秘密は厳守いたします。

